

## <対策のポイント>

無断伐採への対応などの新たな行政ニーズに対応し、成長戦略に記載されているスマート林業等の林業イノベーションと生産流通構造改革の実現を図るため、森林情報の充実と共有を図るクラウドシステムの整備等を支援し、森林の計画的な整備・保全を推進します。

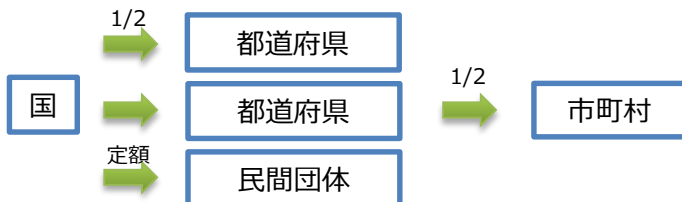
## <事業目標>

私有人工林面積（約670万ha）における集積・集約化の目標面積（約310万ha）に対する割合（71%[平成27年度] → 100% [令和10年度まで]）

## <事業の内容>

- ① 都道府県が保有する森林情報をクラウド化するシステム整備に対して支援します。
- ② 市町村が運用する林地台帳について、伐採届や造林報告などと効果的にリンクさせるため、モデル的なシステム整備等を支援します。
- ③ ①及び②のシステム整備とあわせ、航空レーザ計測等による森林資源情報や所有者情報等を精緻化・高度化する取組を支援します。
- ④ 無断伐採を市町村が早期かつ効率的に把握できる技術の実装、及びバックアップ体制の整備を行う民間団体に対して支援します。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

   : 支援範囲①  
    : 支援範囲②  
    : 支援範囲③  
    : 支援範囲④

